

## 川崎北部保健医療圏等の救急医療関連データについて

## (1) 北部保健医療圏救命救急センターにおける救急搬送状況等について (出典：川崎市消防局)

## 1 3次救急搬送状況

(人)

	搬送依頼件数	非応需件数	非応需割合	うち 重症・死亡
H30	5,260	236	4.5%	45
R1	5,389	311	5.8%	55
R2	4,565	368	8.1%	74
R3(5月~6月)	156	7	4.5%	—

受け入れ先初診医師診断

※R3. 5月より聖マリ救命救急センターのホットライン(3次救急)開設。

・R2まではホットラインに2次・3次の分けがなかったため、非応需のうち受け入れ先初診医師が【重症】【死亡】と診断した件数を、3次救急の患者相当とみなす。

## 2 重症・死亡判断事例の最終受け入れ先

	川崎 救命C	日医 救命C	聖マリ 救命C	市外	川崎区	幸区	中原区	高津区	多摩区	麻生区	合計
H30	3	12	2	8	0	3	6	2	3	6	45
R1	4	18	3	5	1	2	5	2	9	6	55
R2	1	25	2	9	1	2	3	5	5	21	74
R3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	7
平均割合	40.9%			12.2%	1.1%	3.9%	7.7%	5.0%	9.4%	19.9%	

・非応需のうち、約40%は市内の救命救急センターが受け入れている。

・救命救急センター以外での非応需ケースの受け入れ先は麻生区の医療機関が最も高く、次いで市外となっている。

### 3 非応需の理由

	ベッド満床	処置中	処置困難	専門外	その他	合計
H30	18	10	8	1	8	45
R1	28	15	3	0	9	55
R2	20	36	6	0	12	74
R3	0	2	2	2	1	7
平均割合	36.5%	34.8%	10.5%	1.7%	16.6%	181

※処置中：重傷者対応中で初療室処置台が使用できず対応できない場合

#### (2) 救命救急センターへの搬送時間について

3年平均(H30～R2)		患者発生区						
		川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
市立川崎	時間(分)	5:11	9:22	14:19	20:16	32:09	32:17	-
	件数(人)	535	188	17	2	2	2	0
日医大	時間(分)	18:16	8:54	5:37	9:41	13:08	18:14	26:07
	件数(人)	4	38	263	184	37	8	1
聖マリ	時間(分)	33:03	28:15	21:12	13:12	9:16	9:07	11:52
	件数(人)	4	4	19	99	299	357	270

※集計対象は【重症】・【死亡】と診断された件数のみ

- ・多摩以南で発生した場合は平均10分以内での搬送が来ている。一方、麻生区で発生した患者の平均搬送時間が12分程度要している。

#### (3) 北部保健医療圏の状況

- ・川崎北部医療圏で、3次救急における非応需ケースが一定程度存在している。
- ・川崎北部医療圏で発生した3次救急非応需ケースについて、川崎南部医療圏の救命救急センターが一定程度応需している。
- ・救命救急センターへの搬送時間は麻生区が最も長い。